



夏季中体連大会 入賞おめでとう！

- ★優 勝 団体：軟式野球
男子バドミントン
個人：土井瑞己・村上蓮(バドミントン男子ダブルス)
江口礼(バドミントン女子シングルス)
- ★準優勝 個人：三小田流維・坂本勝哉(バドミントン男子ダブルス)
- ★3 位 団体：男子バスケット
女子バドミントン
個人：石丸絢菜(バドミントン女子シングルス)
荒木滝基・菰田達夢(男子ソフトテニス)
西原碧海(空手女子個人組手・個人形)

どの部も三中魂で最後まで全力で戦ってくれました。感動と成長を感じることができた試合をたくさん見ることができました。残念ながら目標が達成できなかった選手やチームもありましたが、三中生全員がしっかりと心の優勝旗を持って帰ることができたという顧問から聞き、とてもうれしくなりました。

この大会を通して、強いチームは挨拶などの礼儀もしっかりしていること、目標に向かってコツコツと努力して積み重ねていくことや仲間との絆が、いかに大切だったのかに気づけたならば、それだけでも大きな成長だと思います。コロナ禍でも大会を開催していただいた関係者の皆様、そして精一杯応援してくれた保護者の皆様、本当にありがとうございました。また、県大会に出場する選手の皆さんは、大会まで健康管理に注意し、ベストを尽くして戦っててください。健闘を祈る！！

制服の選択制導入について検討を始めました！

7月4日付けで配付した「制服の選択制導入等の検討について」は、7月2日(土)の学校運営協議会にて提案し、「生徒から声が上がリ、その声を大切にしてもらっていることに感謝したい。今の世の中の流れからも早急に対応してほしい。」と承認もいただきましたので、保護者の皆様に通知いたしました。改めて、荒尾市は人権を守る教育の充実が推進されているまちであることを実感しました。今後は、本校区の児童生徒やPTA、そして荒尾市教育委員会とも連携を取りながら、「多様性を尊重し、一人一人に心の居場所のある学校づくり」をさらに進めていきたいと考えています。

制服の選択制とは、女子もズボンが着用できるなど、男女の区別なく自分で制服を選択して着用することができることです。もし、次年度以降、制服の選択制を導入するならば、本校でも現在選択制導入の主流である男女共通の上着(ブレザー)と、下はズボンとスカートを準備する方法が一番よいのではないかと考えています。もちろん、在校生については、今まで以上に柔軟に対応できるようにしたいと考えています。

また、新デザインの制服に移行していくならば、金額は今の制服と同額か、少し安くなるよう業者に依頼したいと考えています。そうなった場合、新制服への完全移行期間を幅広く持つとともに、家庭に経済的負担がかからないように、これまでの兄弟等の制服が着用できるようにするなど柔軟に対応していけたらと考えています。

このように、制服の選択制導入については、これから検討を始めます。今後は、児童生徒や保護者の皆様にもご意見をいただく場を設定しながら進めていきますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。